

平成28年度 ニシン漁獲物調査速報(12)

水産試験場が実施しているニシン漁獲物調査において得られた情報について、随時お知らせしています。

3月10日に石狩湾漁業協同組合厚田本所に出荷された漁獲物の測定調査を実施しましたので結果を報告します。厚田本所の皆様、ご協力ありがとうございました。なお、今回の調査をもって漁期中の漁獲物速報は終了見込みです。

【結果】

1. 漁獲(表1) 湾内では全体的に薄漁の傾向が進んできましたが、厚田方面では比較的まとまった漁が続いているようです。例年どおり、型は既に小さく、オスは大中主体、メスは25入から細手のサイズが主体となっています。

2. メスの完熟率(表1)

測定したニシンは雌、雄ともに完熟状態でした。水温は例年に比べると以前低めですが、先月中旬を底に昇温傾向にありますので、産卵は随時行われているものと思われま

3. 年齢別尾叉長組成(図1)

尾叉長26cmにモードをもつ3年魚(2014年級)が大半となっています。厚田の前回調査(2月27日:速報10号)でも3年魚が主体でしたが、そのときのモードは27cmであり、今回は1cm程度小さくなっています。やはり今季の3年魚はここ数年の中では最も成長が良く、2.0寸目合と中心サイズが適合しているようですが、より小型になったことで、網から抜ける割合が増えているのではないかと考えられます。近年は3年魚主体で今時期以降に産卵されたものが、夏季の稚魚調査で多くみられる傾向があります。今後の操業については、来期への獲り残しの確保や次世代資源の造成とのバランスを考える段階になってきました。一方、2年魚については今回の測定標本の中にはみられませんでした。今後、さらに小型の仕分け銘柄が増えてくるようなことがあると2年魚混じりの可能性もあります。

表1 銘柄別ニシン漁獲・測定結果

銘柄	オス大中	オス中	メス25入	メス26入	合計
漁獲重量kg	標本採集時に荷受け中だったため詳細不明				
漁獲尾数	標本採集時に荷受け中だったため詳細不明				
測定尾数	34	34	25	26	119
測定尾数(精密)	34	34	25	26	119
平均尾叉長(mm)	264	264	265	268	265.2
平均体重(g)	196	196	204	208	200.1
雌の比率	—	—	1.00	1.00	—
完熟率*	—	—	1.00	1.00	—

*メス全体のうち産卵直前の卵を持つメスの比率

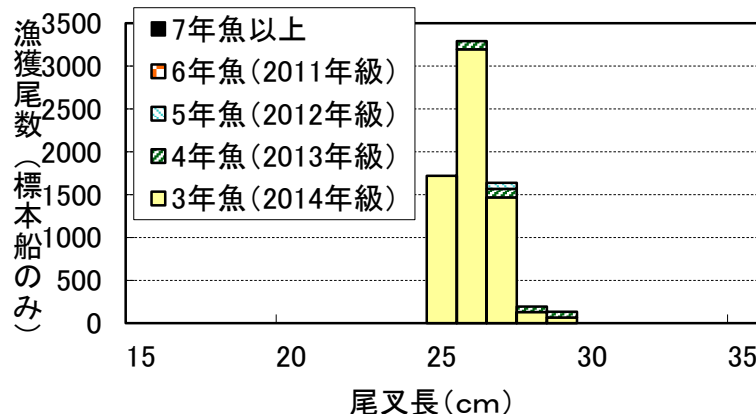


図1 2017年3月10日厚田海域 年齢別尾叉長組成